

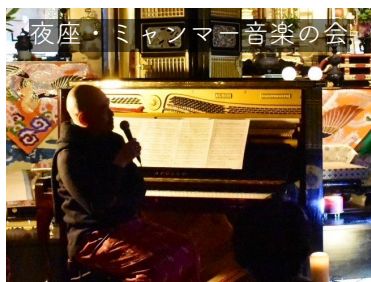
## 研修会/永代経/夜座/彼岸会/作品展/総会 等ご報告、夜座/収納会/W降誕会&御消息 等ご案内

桜の開花と共に降り注ぐ菜種雨、足早に過ぎ去る春が惜しまれます。2月、3年ぶりの下川東組壮年研修会では、安楽寺住職金安ちづる師(宇部)がご自坊の特色を活かした独自のご法座をお話くださいました。前住職のご命日に厳修された永代経法要では、お馴染みの佐々木先生が高座にて「幸」と「辛」の違い、「一」を取り上げ「難あるままによろこばしい」お念仏のみ教えをあたたくお取次くださいました。ミャンマー音楽をご縁とした夜座では、動画や写真を用いた現地のお話と、謎めいた音楽の実演を村上巨樹さん(岩手)と河合拓始さんが(糸島)お聞かせくださる興味深い夜に。蓮華の会主催の茶話会では、ご本堂でお供えしたお線香や蠟燭のおさがりを使った小さなパネルの制作(松下愛さん・荒尾)や、利休忌にちなんだ抹茶のお話と自服の会(木本智子さん・熊本)が開催されました。その他、3月の蓮華の会総会と春季彼岸会、ご本堂での作品展、門徒総会については裏面にてレポートしていますのでご一読くださいませ。

4月には、昨年に引き続き、インド楽器の奏者U-zhaanさん・新井孝弘さんをご縁とした夜座の開催や、茶話会でのカラオケ大会開催、そして今日までのご門徒各位のご協力によって本堂大屋根改修懇志の収納会が行われます。詳細を別紙にてご確認のうえ、ご対応くださいますようお願い申し上げます。続く5月、例年通り、お釈迦さまと親鸞聖人のお誕生をお祝いする「花まつり・降誕会」あわせて、元中通り組蠟燭講の「御消息披露法要」をお勤めします。こちらも別紙をご確認のうえ、どなた様もぜひお参りくださいませ。



壮年研修会・金安先生のお話



夜座・ミャンマー音楽の会



おさがりアート制作



御礼！永代経の台所にて包丁を研ぐ講中・田尻さん



第5回本堂大屋根改修委員会



茶話会で千利休のお話

茶話会では遺影撮影会つき「ぶっちゃけ葬儀？Part.2」を開催。また、新年度を迎え、門徒会・蓮華の会ともに顔合わせを兼ねた役員会議が行われます。令和6年度も、すでに盛りだくさんの一年。南無阿弥陀仏のおみのりに、今この時をめぐまれる不思議を知らされ、一つずつお勤めできますこと、お蔭様です。今年度もお世話になります。 合掌

## [ 4~5月の行事予定 ]

- 4月 2(火)~4日(木) 10時~ 元中通組巡番報恩講法要 @浄弘寺
- 4月12日(金) 19時~ なんもない夜座#4 @明行寺 ※サントウールとタブラの北インド音楽演奏会、事前申込制
- 4月13日(土) 13時半~ 御消息披露法要 @西光寺 ※どなた様もぜひお参りください
- 4月17日(水) 14時~ お取寄せスイーツ茶話会「喫茶去・明行寺」vol.27 @明行寺 ※お申込期限：4/14(日)
- 4月22日(月) 9~13時 明行寺大屋根改修懇志収納日 @明行寺 ※詳細は別紙をご覧ください
- 4月25日(木) 15時~ 第15世坊守一周忌法要@明行寺 ※親戚一同にてお勤めする予定です
- 4月27(土)~29日(月) 13時~ 元中通組宗祖降誕会法要 @浄光寺 ※どなた様もぜひお参りください
- 5月10日(金) 13時~ 蓮華の会 役員顔合わせ 兼 役員会議 @明行寺 ※蓮華の会役員、アドバイザー方が対象
- 5月13日(月) 16時~ 新役員・講中顔合わせ説明会 兼 第6回本堂大屋根改修委員会 @明行寺 ※役員、講中、改修委員方が対象
- 5月16日(木) 14時~ 下川東組組会 @西教寺 ※門徒会長、住職でお参りします
- 5月18日(土) 11時半~ 花まつり・降誕会・御消息披露法要 @明行寺 ※詳細は別紙をご覧ください
- 5月18(土)~28日(火) W降誕会 本堂開放Week @明行寺 ※展示企画を予定しています
- 5月19日(日) 14時~ お取寄せスイーツ茶話会「喫茶去・明行寺」vol.28 @明行寺 ※お申込期限：5/12(日)

[住職の出張予定] 4/21 坊守LIVE @古小代の里(南関町)、4/23 お取次 @妙福寺(南関町)、4/26 お取次 @光照寺(柳川市)、4/29 坊守LIVE @浄光寺(柳川市)、5/5 お取次 @専宗寺(博多区)、5/7,8 お取次 @善教寺(博多区)、5/11 お取次 @光源寺(瀬高町) [裏面につづく](#)



令和5年度の締めくくりとなる3月。お蔭様で蓮華の会総会と春季彼岸会が無事に勤まりました。御講師は糸島市海徳寺住職・松月英淳師。各所に笑いを散りばめながら、如来さまの願いの力でこの私をこそ転ぜられていく、そのおはたらきをあたたくお取次くださいました。女性陣がお土産の牡丹餅をご準備くださる台所では、日々の御礼に、お彼岸の時くらいは！と張り切った住職が昼食のカレーをこしらえました。味がどうだったかは分かりませんが、秋のお彼岸でも同様に感謝お伝えできれば画策しています。この機会にぜひ、初のお料理ご一緒くださる方、大募集中！



蓮華の会総会では、会計報告とともに今後の取り組みについて議論し、議事録を全戸に配布しておりますのでご確認くださいませ。明行寺を紹介するリーフレットを作成しよう等、前向きなご意見に身の引き締まる思いです。また、ご門徒の木村安佐子さんのご紹介で、大牟田市の菅原病院が運

営する就労支援・子どもたちの通所支援施設の方々によるアート作品を本堂いっばいに展示する機会に恵まれました。期間中作者ご本人や子どもたち、ご家族だけでなく大変多くの方がお参りくださいました。意味・背景の理解や言語化によって切り取られ、分別されるより前の命の躍動がうつしとられた作品を前に、私が見ているようで逆に私自身というものが照らされている、そんなご縁となりました。



年度末最後の行事である門徒総会では、決算と一年間の取り組みをご報告。また、門徒会・蓮華の会ともに役員改選時期であり、任期を勤めあげた役員方に感謝状をお送りしました。令和6年度からは体制を新たに、次の取り組みへと精進して参ります。一年一年、貴重なお力添えをくださいますこと、深く御礼申し上げます。 称名

コ  
ラ  
ム

「寝たふりをしている亭主に 灸をすえ」・・・2/3

『生命は』

そんなことを考えていた時に、詩人、吉野弘さんの訃報を知りました。久しぶりに詩集を広げて、『生命は』を読んでみる。「生命は 自分だけでは完結できないように つくられているらしい」で始まり、花が実を結ぶためには昆虫や風の助けが必要なことが描かれ、「生命はすべて そのなかに欠如を抱き それを他者から満たしてもらおうのだ(中略) 私もあるとき 誰かのための蛇だったろう あなたもあるとき私のための風だったかもしれない」で終わる。昆虫がチョウでなくてアブというところが面白い。チョウならきれいで誰からも好かれるし、自分から近寄ってみたいくなる。一方、アブはブンブンいって時には人を刺し厄介者扱いされる。でもアブのように時にはうとましく、わずらわしい他者によって初めて、私が私と出あい、私になっていくのだということ詩人は伝えたいのではないかと思います。

>>続きは次号、6月の「明行寺新聞 vol.39」にて！



女と男のナムアミダブツ 藤場芳子

藤場芳子師 「女(ひと)と男(ひと)のナムアミダブツ」

1954年生まれ。真宗大谷派常讀寺副住職。解放運動推進本部「女性室」元スタッフ。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。坊守(智美)が仏教とジェンダーについて学ばなかでご縁を賜り、ご著作から明行寺新聞のコラムに掲載している。

明行寺HP



Instagramで  
お朝勤配信中  
(毎朝6時半～)



うたう  
明行寺

公式LINE



お気軽に！